



栗原莞爾「変遷」



先人の知恵、次世代の成功へ



プロジェクトマネジメント「極意」とは?	P2
こんなお悩みありませんか?	Р3
選べる実施形態	P4
研修体系図(工程別)	P5
研修体系図(テーマ別)	P6
カリキュラム例	P7
取り扱い研修一覧	P9~

プロジェクトマネジメント「極意」とは?



極意シリーズとは、ベテランプロジェクトマネージャーの経験を研修に詰め込んだシリーズです。

必要に応じて、一部分の講座を受講されるのも効果的ですが、シリーズを通して受講していただくと、 それぞれの「極意」がリンクしあって、プロジェクトマネジメントを体系的にご理解いただくことができます。 お客様のご要望にあわせて公開講座、講師派遣いずれでも実施可能です。まずはお気軽にご相談ください。

※PMBOKの考えに準拠しています。

極意3つのポイント

POINT 01

現場ですぐに実践できる

システム開発の現場で実際に 起こる内容を想定した研修内容。 学ぶよりも「体得する」ことに 重きを置いています。 POINT 02

「これが知りたかった」を凝縮

ベテランプロマネの長年の経験を凝縮。 技術面はもちろん、 プロジェクトマネージャーとしての 心得まで学んでいただけます。 03

必要な講座だけ、選択受講

シリーズを通して受講することで 体系的な教育にお役立ていただける のはもちろん、必要な研修だけを 選んで受講いただくことも可能です。

こんなお悩みありませんか?



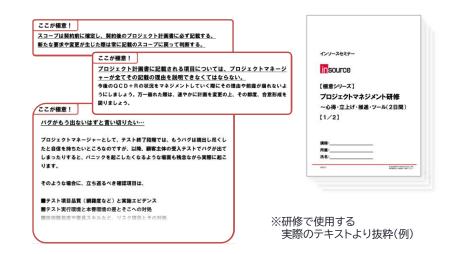
- 細かな業務フローが書けない、十分なレビューができない など、プロジェクトマネージャーとしてのノウハウ不足を 感じる
- 社内外のコミュニケーションの取り方や、プロジェクトマネージャーとしての心得など、技術面以前の基礎スキルをつけたい
- □ 人員不足や組織風土から、教育に対する十分なリソース が割けず、体系的に学べる教育機会をつくりたい

- ジ シリーズを通して受講いただくと、体系的な知識が身に つくだけでなく、プロジェクトマネージャーとしての"勘 所"が備わる

高品質な研修テキスト

極意シリーズのテキストでは、「ここが極意!」と題した、ベテランプロマネの長年の経験から生み出される、 現場の真髄が散りばめられています。

プロジェクトマネジメントの知識が身につくだけでなく、より現場をイメージしながらご受講いただけます。



選べる実施形態



お客さまのご要望やご状況にあわせて、最適な実施形態をお選びいただけます。

1名さまから参加できる



INSOURCE OPEN SEMINAR

オーダーメイド研修

講師派遣

INSOURCE CUSTOM MADE SEMINAR

	概要	1名からご参加いただける <mark>異業種交流型</mark> の研修サービス	講師を派遣する <mark>オーダーメイド型</mark> の研修サービス
Y	特徴	・コストをおさえられる ・他組織の受講者と交流できる ・割引価格やポイントを利用して受講可能(※)	・ご要望にあわせて柔軟なカスタマイズが可能 ・組織の課題やゴールを研修内容に反映できる ・受講人数が多ければ多いほどお得に実施可能
,22 2	受講者	他組織の受講者と合同で受講 ~15名以下が目安 ※研修により適正人数は異なります	お客さま組織の受講者のみで実施 15名以上~ ※研修により適正人数は異なります
	日程	予め設定された日程にお申込み	
0	研修場所	全国6都市(東京・大阪・名古屋・福岡・札幌・仙台)で開催	ご要望にあわせて調整可能 まずはお気軽にご相談ください
*	カスタマイズ	不可	

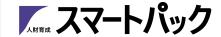
*

かんたんお申込みシステム



インソースの公開講座や動画教材、研修テキストなど、様々なサービス・商品のお申込み手続きが簡単にできる、無料の会員さま専用システムです。

現在、26,368社(2025年6月末時点)の お客さまにご利用いただいています。



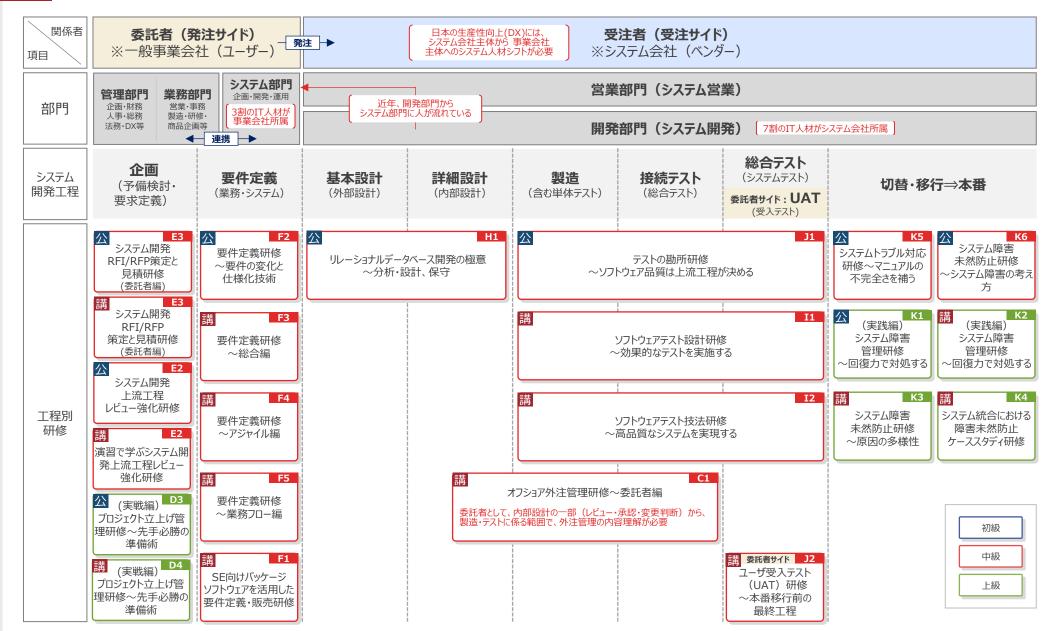
インソースの公開講座や動画教材・e ラーニング、テキスト教材など、様々な サービスをお得にご利用いただける、ポ イント制割引サービスです。

WEBinsourceを使ってご利用可能で、ポイントは100ポイント単位で追加購入が可能です。

essence of Project Management

研修体系図(工程別)



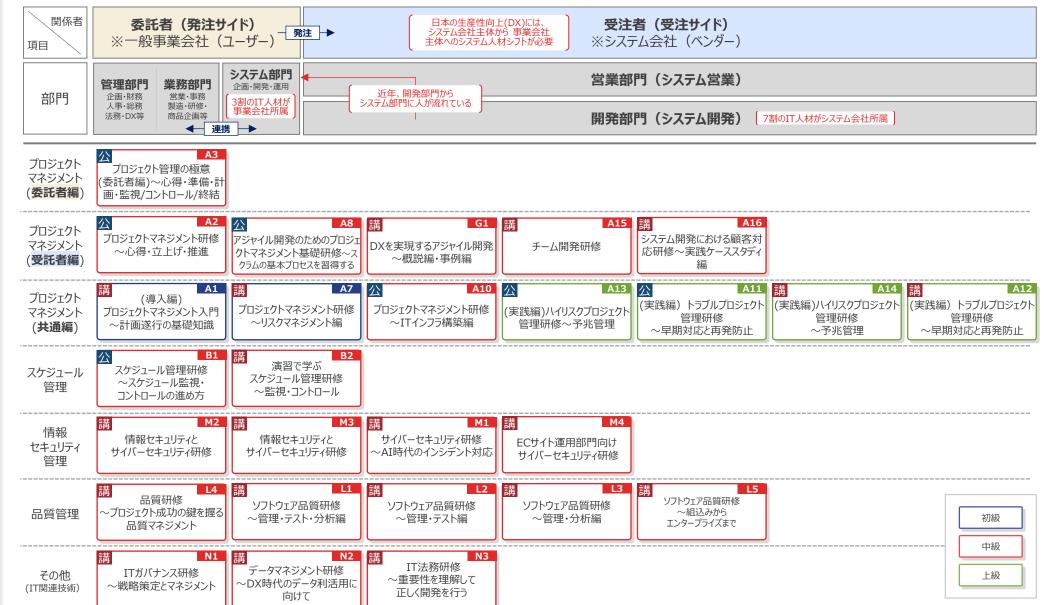


レベルはプロジェクトマネージャー/プロジェクトリーダーの経験回数を元に設定しております。 初級:未経験、中級:1回以上、上級:複数回

お問合せの際は、研修No.をお伝えいただくとスムーズです。また、青字の研修名は詳細内容をWebページにてご確認いただけます。 講 =講師派遣 🕢 =公開講座

研修体系図(テーマ別)





レベルはプロジェクトマネージャー/プロジェクトリーダーの経験回数を元に設定しております。 初級:未経験、中級:1回以上、上級:複数回

お問合せの際は、研修No.をお伝えいただくとスムーズです。また、青字の研修名は詳細内容をWebページにてご確認いただけます。 <mark>講</mark> =講師派遣 <u>公</u> =st



【極意シリーズ】プロジェクトマネジメント研修~心得・立上げ・推進・ツール(2日間)

若手層

中堅層

リーダー層

管理職屋

よくあるお悩み・ニーズ

- □ プロジェクト計画立案に悩んでいる
- お客様を含めたステークホルダーとの コミュニケーションの在り方を知りたい
- □ 品質管理やリスクマネジメントの在り方を知りたい

概要

プロジェクトマネージャーの仕事は多岐に渡ります。そこで、プロジェクトマネージャーの心得から始まり、

- ・プロジェクトを取り巻くステークホルダーの認識とコミュニケーションについて
- ・品質管理、進捗管理、費用管理、リスク管理で行うべき事柄と技術
- ・プロジェクト管理作業へのツール適用の3点について、 実経験に基づく知見として学んでいただきます。

到達目標

- ① プロジェクトマネージャーの作業や責任を説明できる
- ② プロジェクト計画書を作成できる
- ③ プロジェクトマネージャーとして行うべき QCD+R管理の進め方を理解する

カリキュラム

- 1. なぜ、プロジェクトマネジメントなのか 【ワーク】プロジェクトマネージャーが 大切にすべきことについて考える 【ワーク】今のプロジェクトについて、 良かったところと悪かったところを考える
- 2. プロジェクトマネージャーの心得 【ワーク】プロジェクト立ち上げ時において、 困ることや不安なことを挙げる
- 3. プロジェクト受注審査 【ワーク】プロジェクト関係者について 【ワーク】エグゼクティブサマリーで 自分が注意することは何か
- **4. プロジェクトの開始準備** 【ケースワーク】アプリケーションパッケージ 導入プロジェクトのWBSを考える
- 5. プロジェクト立上げのまとめ
- **6. プロジェクト推進時に行うこと** 【ワーク】プロジェクト推進に当たって困ること や不安に思うことを挙げる

7. Quality:品質管理

【ワーク】あるバグ曲線を見て、必要な施策を検討する

8. Cost/Delivery:費用管理、 進捗管理

【ワーク】遅れの原因の推定と対処をまとめる

9. Risk:リスク管理

【ワーク】あるリカバリ策について、施策を考える

10. フェーズ終了判定

【ケースワーク】バグ曲線が寝ない場合の対処について考える

- 11. 終結 ~プロジェクトの振り返り
- 12. おわりに



【極意シリーズ】要件定義研修~要件の変化と仕様化技術

中堅層

管理職層

よくあるお悩み・ニーズ

- 要件定義書は何を書いたら良いのか分からない
- 要件定義が中々取りまとめできない
- SoR、SoE、SoIの違いが分からない
- □ 仕様化技術を学びたい

概要

本研修は、要件定義工程を多角的に捉えた研修です。 システム化要件把握の勘所をおさえ、的確な要件定義書の 作成をできるようになっていただきます。

IT業界で、金融業・製造業など、経験豊かなベテランPMが、 自らの経験を踏まえて、執筆・監修致しました 実践的な研修です。

到達目標

- ① 高い品質の要件定義書の作成ができる様になる
- ② 要件定義書作成を通じて プロジェクト全体が見通せる様になる
- ③ プロジェクト関係者(ユーザー部門等)と自信を持って コミュニケーションできる

カリキュラム

1. 要件定義の種類と開発プロセス

【ワーク】要件定義作業を行ったときにうまくいった点や、苦労した点などをまとめる 【ワーク】コンピューターシステムが果たしている役割について、整理する

2. 要件定義作業

【ワーク】成果物要件があいまいな場合の対応

3. 仕様化技術

【ワーク】ダイアグラム

【ワーク】正規化

【ワーク】状態遷移図

4. まとめ

【ワーク】本日の研修を踏まえて、今後の業務に生かせそうなことを考える

ここが極意!

SoRは業務の流れを押さえるべし

役割の重複、転記作業、ムダなチェックなど、効率を悪化 させる要因があぶりだされます。これを解決すれば、利用 者からも感謝されること必定です。

※本研修の テキストより抜粋

ここが極意!

SoEでは、まず動く物を作って評価を受けるべし! ソフトウェアの弱点は完成しないと動作を確認できないところにあります。よって、短期間で動く物をリリースし、実際の利用者から評価を受けて次の開発に繋げることが肝要です。



プロ	プロジェクトマネジメント全般							
No.	対象者	レベル	研修名		日数	研修の特長		
A1	PM 初心者	初級	(導入編)プロジェクトマネジメント入門~計画遂行の基礎知識	講	2日	入門編のプロジェクトマネジメント研修 ※演習あり		
A7	SE	初級	プロジェクトマネジメント研修~リスクマネジメント編	講	1日	リスク管理の基礎知識を学ぶ		
A2	受託者	中級	プロジェクトマネジメント研修~心得・立上げ・推進	公	2日	受託者編 プロマネ研修		
A3	委託者	中級	プロジェクト管理の極意(委託者編) ~心得・準備・計画・監視/コントロール/終結	公	3日	実践的にPMBOK6の内容整理 ①心得・プロジェクト立上げ準備 ②プロジェクト計画策定 ③プロジェクト実施/監視・コントロール/終結		
A4	ユーザ 部門	中級	ユーザ部門向けプロジェクトマネジメント		1日	ユーザ部門のPMとしての基礎知識を学ぶ		
A5	ユーザ 部門	中級	ユーザ部門向けプロジェクトマネジメント ケーススタディ		1日	ユーザ部門のPMのケーススタディ		
A6	ユーザ 部門	中級	プロジェクトマネジメント実践ケーススタディ研修 〜失敗事例に学ぶ	講	1日	ユーザ部門のPMの訓練		
A8	SE	中級	アジャイル開発のためのプロジェクトマネジメント基礎研修 ~スクラムの基本プロセスを習得する	公	2日	アジャイル型開発プロセスの「スクラム」の 基本的な進め方を学ぶ		



No.	対象者	レベル	研修名		日数	研修の特長
A9	インフラ SE 初〜中級	中級	プロジェクトマネジメント研修~ITインフラ構築編		4日	ITインフラ系に特化したプロマネ ①基礎知識(事前学習も可能) ②ソフトウェアの基礎的QCDマネジメント ③ハードウェアのQCDマネジメント ④安全、環境、リスク、コミュニケーション
A10	インフラ SE 初〜中級	中級	プロジェクトマネジメント研修~ITインフラ構築編	公	2日	ITインフラ系のQCDを学ぶ
A15	PM、PL	中級	<u>チーム開発研修</u>	講	1日	チームで開発を進める際に重要となる目標の明 確化やスケジュール管理のコツを学ぶ
A16	PM	中級	システム開発における顧客対応研修~実践ケーススタディ編	講	1日	システム開発工程でのステークホルダーとの信頼関係を筑くコミュニケーション力やトラブル対応のコツをケーススタディを通じて学ぶ
A11	РМ	上級	(実践編)トラブルプロジェクト管理研修〜早期対応と再発防止	公	1日	トラブルPJの発見と立て直しのポイント習得 ※講義のみ
A12	PM	上級	(実践編)トラブルプロジェクト管理研修〜早期対応と再発防止	講	2日	トラブルPJの発見と立直しのポイント習得 ※ケーススタディあり
A13	PM	上級	(実践編)ハイリスクプロジェクト管理研修~予兆管理	公	1日	プロジェクトのリスク予兆管理を学ぶ ※講義のみ
A14	PM	上級	(実践編)ハイリスクプロジェクト管理研修~予兆管理	講	2日	プロジェクトのリスク予兆管理を学ぶ ※ケーススタディあり

The essence of Project Management

取り扱い研修一覧



スケ	スケジュール管理						
No.	対象者	レベル	研修名		日数	研修の特長	
В1	SE/PM	中級	スケジュール管理研修~スケジュール監視・コントロールの進め方	公	1日	スケジュール遵守に必要な知識習得	
В2	PM	中級	演習で学ぶスケジュール管理研修~監視・コントロール	講	2日	スケジュール遵守に必要な知識習得 講師派遣版 WBS策定演習	
外注	管理						
C1	PM	中級	オフショア外注管理研修~委託者編	講	1日	オフショアの外注管理を総合的に学ぶ	
企画	i						
D1	ユーザ 部門	中級	システム化企画研修		1日	ユーザ部門のPMとして超上流工程を学ぶ	
D2	ユーザ 部門	中級	システム化企画ケーススタディ		1日	ユーザ部門の上流工程のケーススタディ	
D3	ユーザ 部門	上級	(実践編)プロジェクト立上げ管理研修~先手必勝の準備術	公	1日	ユーザ部門のプロジェクト立上げを学ぶ ※講義のみ	
D4	ユーザ 部門 上級PM	上級	(実践編)プロジェクト立上げ管理研修~先手必勝の準備術	講	2日	ユーザ部門のプロジェクト立上げを学ぶ ※ケーススタディあり	



No.	対象者	レベル	研修名		日数	研修の特長
企画	画・要件定	義				
E1	SE	中級	システム開発見積研修		1日	ベンダーでの見積技術習得
E2	SE	中級	演習で学ぶシステム開発上流工程レビュー強化研修	講	1日	上流工程でのレビュー手法を演習で 実践的に学ぶ ※演習あり
E2	SE	中級	システム開発上流工程レビュー強化研修	公	1日	上流工程でのレビュー手法を演習で 実践的に学ぶ ※演習あり
E3	委託者	中級	システム開発RFI/RFP策定と見積研修(委託者編)	講	1日	委託者として見積評価に必要な知識習得
E3	委託者	中級	システム開発RFI/RFP策定と見積研修(委託者編)	公	1日	委託者として見積評価に必要な知識習得
E4	システム 営業	中級	システム営業RFPレビュー研修		1日	営業マインド醸成と顧客に向けたRFP対応習得
要作	井定義					
F1	SE/ 営業	中級	SE向けパッケージソフトウェアを活用した要件定義・販売研修	講	1日	パッケージソフト活用での要件定義研修 ※販売ロープレあり
F2	SE/上流 担当者	中級	要件定義研修~要件の変化と仕様化技術	公	1日	SoR、SoE、SoIそれぞれの要件定義手法を 学ぶ
F3	委託者/ 上流 担当者	中級	要件定義研修~総合編	講	1日	業務改善〜価値創造まで総合的な要件定義研修
F4	委託者/ 上流 担当者	中級	要件定義研修~アジャイル編	講	1日	DXシステムによる価値創造に向けた 要件整理(アジャイル)

The essence of Project Management

取り扱い研修一覧



No.	対象者	レベル	研修名		日数	研修の特長
F5	委託者/ 上流 担当者	中級	要件定義研修~業務フロー編	講	1日	業務フロー図による業務改善要件抽出
アジ	ヤイル					
G1	SE	中級	DXを実現するアジャイル開発~概説編・事例編	講	2日	業務改善〜価値創造を実現する アジャイルの総合研修
設計						
H1	SE	中級	リレーショナルデータベース開発の極意~分析・設計、そして保守	公	1日	RDBの開発・保守を学ぶ
設計	・テスト					
No.	対象者	レベル	研修名		日数	研修の特長
I1	SE	中級	ソフトウェアテスト設計研修~効果的なテストを実施する	講	2日	テスト設計研修 ※演習あり
I2	SE	中級	ソフトウェアテスト技法研修~高品質なシステムを実現する	講	2日	テスト技法研修 ※演習あり
テス	۲					
J1	SE·PM 初級	中級	テストの勘所研修〜ソフトウェア品質は上流工程が決める	公	1日	テストの重要性を上流工程から学ぶ
J2	委託者 初~中級	中級	ユーザ受入テスト(UAT)研修~本番移行前の最終工程	講	1日	システム障害発生時の初動から収束までを学ぶ ※講義のみ
J3	金融系 ユーザ 部門	中級	演習で学ぶUAT研修(利用者向け)		1日	開発工程を理解し、UATの重要性を学ぶ ※演習あり



No.	対象者	レベル	研修名		日数	研修の特長			
障害	障害管理								
K5	PM 初心者	中級	システムトラブル対応研修~マニュアルの不完全さを補う	公	1日	システム障害対応を学ぶ			
K6	РМ	中級	システム障害未然防止研修~システム障害の考え方	公	1日	回復力のあるシステムを作る「レジリエンス」の ノウハウを学ぶ			
K1	РМ	上級	(実践編)システム障害管理研修~回復力で対処する	公	1日	システム障害発生時の初動から収束までを学ぶ ※講義のみ			
K2	РМ	上級	(実践編)システム障害管理研修~回復力で対処する	講	2日	システム障害発生時の初動から収束までを学ぶ ※ケーススタディあり			
КЗ	中~上級 PM	上級	システム障害未然防止研修~原因の多様性	講	半日	航空業界のシステム障害未然防止を 事例によるケーススタディで学ぶ			
K4	РМ	上級	システム統合における障害未然防止ケーススタディ研修	講	半日	金融業界のシステム障害未然防止を 事例によるケーススタディで学ぶ			
品質									
L1	PM初級 初級 管理者	中級	ソフトウェア品質研修~管理・テスト・分析編	講	3日	品質管理の基礎、テスト、品質分析の総合学習			
L2	PM初級	中級	ソフトウェア品質研修~管理・テスト編	講	1日	品質管理のうちテストのみ			



No.	対象者	レベル	研修名		日数	研修の特長
L3	初級 管理者	中級	ソフトウェア品質研修~管理・分析編	講	1日	品質管理の基礎、品質分析のみ
L4	SE	中級	品質研修~プロジェクト成功の鍵を握る品質マネジメント	講	1日	リスク管理を中心とした品質管理
L5	組込み ソフト 開発会社	中級	ソフトウェア品質研修〜組込みからエンタープライズまで	講	1日	組込みソフト系の品質管理研修
セキ	ュリティ					
M1	SE・IT 部門の方	中級	サイバーセキュリティ研修~AI時代のインシデント対応	講	1日	最新動向を踏まえたサイバーセキュリティ研修
M2	セキュリ ティ担当	中級	情報セキュリティとサイバーセキュリティ研修	講	1日	情報セキュリティとサイバーセキュリティの 最重要ポイントを学ぶ
М3	セキュリ ティ担当	中級	情報セキュリティとサイバーセキュリティ研修	講	3日	情報セキュリティとサイバーセキュリティの 最重要ポイントを学ぶ
M4	セキュリ ティ担当	中級	ECサイト運用部門向けサイバーセキュリティ研修	講	半日	ECサイト運用部門向けのサイバーセキュリティ 研修
IT関	連知識					
N2	(DX) 企画	中級	データマネジメント研修~DX時代のデータ利活用に向けて	講	1日	データを活用するための企業としての 仕組み理解



No.	対象者	レベル	研修名		日数	研修の特長
N3	IT部門・ 契約関係 の方	中級	IT法務研修~重要性を理解して正しく開発を行う	講	1日	システム開発に関する法律・ルール、 実運用を学ぶ
N1	(IT) 企画	上級	ITガバナンス研修〜戦略策定とマネジメント	講	1日	IT戦略策定とマネジメント学習
業務	努知識					
01	銀行系SE	中級	銀行研修	講	3日	①銀行業務全体 ②銀行システム全体 ③最新のIT他情報 ※分割受講も可能